

■ 県内分布

阪神、東播磨、西播磨、但馬、丹波

■ 国内分布

本州(関東以西)、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取	○	特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

県内では点々と知られていたが、観賞用等採取によって少なくなった。

■ 保護上の留意点

生育地である岩場や樹林等の保全を行うとともに盗掘防止対策が必要である。

■ 種の概要

山地の湿った岩壁、まれに人家の屋根に生える。茎は球状に肥厚する塊根より出て、斜上し、高さ7-20cm。葉は2-3個、線形または広線形、長さ7-12cm、幅3-8mm、上方はやや湾曲し、基部は鞘となり茎を抱く。花は6-8月、紅紫色の数花を一方に傾いてつける。